

地域と一体となった取組
「かかわる」、「もとめる」、「はたす」
七ヶ宿小・中学校の一貫志教育



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内小学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
七ヶ宿町立 七ヶ宿小学校	七ヶ宿町学校運営協議会 平成28年4月1日 指定	地域学校協働活動推進員 0名 0名 地域コーディネーター 1名 1名	七ヶ宿町教育推進協議会
七ヶ宿町立 七ヶ宿中学校	七ヶ宿町学校運営協議会 平成28年4月1日 指定	地域学校協働活動推進員 0名 0名 地域コーディネーター 1名 1名	七ヶ宿町教育推進協議会



取組の背景及び目標や目指す姿

背景

本町は県内で最も人口が少ない町である。少子高齢化が進む中で、将来の町を担う子供たちは地域の宝であり、子供たちの地域への愛着心を育てると共に、人との関わりや地域への貢献を通して、より良い生き方を求める社会人に育ってほしいとの地域住民の思いが強い。そのために、コミュニティ・スクールの仕組みを利用し、県の施策「志教育：人と「かかわる」より良い生き方を「もとめる」役割を「はたす」」の理念を柱として、学校と地域・家庭による全町を挙げた子育てに取り組んでいる。

目標や目指す姿(学校)

小学校 <かしこい子 やさしい子 たくましい子>
中学校 <学ぶ生徒 磨く生徒 築く生徒>

目標や目指す姿(地域)

小さくても持続可能なまち
～豊かさを実感できる住み心地100点のまち～



七ヶ宿町学校運営協議会 の特徴

委員の立場や属性等

- | | |
|---------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 小学校関係者 | <input type="checkbox"/> 地域代表者 |
| <input type="checkbox"/> 中学校関係者 | <input type="checkbox"/> 学識経験者 |
| <input type="checkbox"/> 保育所保護者 | <input type="checkbox"/> 地域コーディネーター |
| <input type="checkbox"/> 小学校保護者 | など、計 16 名で構成 |
| <input type="checkbox"/> 中学校保護者 | 年間平均 3 回程度開催 |

効果的な運営の工夫

学校を後輪駆動車に例えれば、協議会が前輪となり方向性を決め、地域学校協働本部が後輪となり教育活動を動かしている。

協議会の会場を小学校及び中学校で毎年度入れ替え、会議の前に、自由参観の時間を設け、委員に児童や生徒の授業を公開している。

熟議は「テーマ研究」と呼び、学校課題に関し意見を集めている。協議をスムーズに進めるため資料は事前にメール送信し各委員に周知の上、協議に臨んでいる。



特徴的な取組と成果・効果

学校運営協議会

学校と地域が一体となった取組(地域学校協働活動)を町域全体で推進する必要性が共通認識され、具体的なアクションとして、七ヶ宿町の幼児や児童生徒がどのような学びをしているのか、現状を発信する場(フォーラム)を設定し、全町民を挙げて、地域の子供たちを育てる機運を高めることを目指した。



推進フォーラム(WEB)

地域学校協働活動

地元企業、地域住民の協力により、町最大のイベント「わらじで歩こう七ヶ宿」への小中学生の参画が実現した。小学生は地域住民との交流を中心に、中学生はイベントスタッフとしての参加を通して、学校教育だけでは実現できない様々な人・もの・ことと「かかわり」「もとめ」、自らの役目を「はたす」ことができた。



中学生イベントスタッフ(時代衣装 町娘係)

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

コミュニティ・スクール推進フォーラムを開催し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の仕組み、県の教育施策(志教育)、小中学校の取組事例を学びながら、今後の児童生徒の目指す姿について広く町民に向けて啓発する機会を創出した。さらに、先進地域のコーディネーターによる講話も交え、地域学校協働活動への参画と地域活性化に向けた機運の醸成を図った。フォーラムを契機として、子供たちの学びに資する取組への地域の方々の理解と協力への意識向上を求めた。

取組

成果・効果

○児童生徒にとって、地域と関わることを通して、より良い生き方を主体的に求める気持ちが育っている。また、地域住民にとっても児童生徒と一緒に活動することで、生きがいを感じ、地域活性化への意欲が高まっている。

【委員による評価】<小学校>

- ①学校関係者以外でも入りやすい学校なので、“町の学校”として愛着をもつことができた。また小規模校の良さを生かした学習指導や行事の運営をしていると感じる。
- ②自分の住んでいる町がどんな町か、低学年から色々な活動に取り組んでもらい、町が大好きな子に育ってほしい。他県に行っても「私の町はこうだった」と胸をはって言える子に育ってほしい。

【委員による評価】<中学校>

- ①特色ある教育活動として取り組む内容が、以前より精選されていると感じた。また、小・中学校共に、あいさつが活性化したり、読書活動が一層推進されたりするなど、小・中学校が一体となって目標達成に向けて取り組む姿が見られた。
- ②地域の教育力を生かした職場体験や生産者訪問を展開していると感じる。